

平新報

迎新所感

東亞同文書院教授 坂本義孝



日本は緊縮に不景気で吹飛ばされず、益々緊縮に於て大敗を受ける程の事も、比すれば悲訴する程の事もなき様である。

今や獨逸は緊縮の如き問題に悩まされ、事なく一意専心世界平和の爲に盡力し得る様になつたのである。

日本も獨逸に一切を切多事多端なりし昭和四年は、すきた、然も忘れ難い大なる事件を史上にとどめて永遠に去つたのである。それは、國民として、職權者として、對する一般人の迷信打破、學校設備の擴充を計り、試験地獄を減らす事である。

二、生活改善を圍り、虚禮を廢し無意味の贈答送迎及交際を廢し、生活を簡便にし經濟的に健全にする事である。支那は日本より形式に提はれて墮落して居る冠婚葬祭に生活を壓迫する程の巨費を投じて居る。非文明人の所爲である。

三、差別觀念を廢し平等道徳を養成し眞の社會的協同を助長する事である。日本には非常道徳あるが平常道徳はないといふ論者がある、我等の三省すべからざる三點を改善するに努力せなければ日本の社會基礎は堅牢にならぬ。些少の問題の爲に動搖を來すに至らぬであらう。

私は平の郷里を離れて海外に居住する事や三十年である。種々の感想もあるが日本人は他まで眞切で正直で實行的である事が特徴だ。廿世紀の社會には獨逸が理想とするからである。獨逸は他國人の足跡の印せざる地

年頭に際し青

年諸君に檄す

玉川村齋藤 晃

此の時諸君の本營は築かれた昨秋堂々と常磐地方の唯一政黨たる立憲政黨會社支部は、精銳なる武器を貯えて諸君の來投を待つて居る。

新しき希望に充ちて迎へられたる昭和五年の始めにあたり、やがて間もなく招來する政戰の巻に大躍進を爲さんとす我等が旗下に集り新生日本建設の第一歩を踏み出されん事を期す。因みに立憲政黨會社支部本部事務所は、湯本町御幸山線岡田氏方面に於て居る。

昭和四年に於て此の二大事件を我等に與へたる事は、新しく來る可き昭和五年に於て完全なる淨化作用を爲さんとして先づ有毒素を出して示したるものである。その淨化作用の重任を負ふものは誰か、申す迄もなからぬ。我々の青年は、國の意氣に燃ゆる青年は、手によりて成されなければならぬ、右きをあまりに蔑視して、却つて新しき思想に燃ゆるが如き事があったらぬ、最も古い過去ありてこそ最も新し

謹賀新年
唐土齋治
渡邊 博
磐中交誼會

謹賀新年
諸橋守次
石城郡朋友會館館長
山崎定彦

平消防組頭
山崎定彦

平旅館組合長
井上隆吉

平町會議員
關内正一
大村屋旅館(電一七五)

平消防組部長
鈴木長一

山崎定彦

山崎定彦

山崎定彦

河部唯孝
岡田栄三

平佐川洋服店(電四一八)
安藤信義

松本栄一

根本毅一

清水廣政

山崎邊久利
平・清水屋書店

山崎和子
平・青年團長

山崎和子
仲田良乾
平町ユラノスケ(電二〇七)

平町二丁目
小杉商店
福徳生命保險株式會社代理店 電話六十一番

平五 大竹酒店
大竹文太郎

山崎定彦
山崎定彦

近藤廣徳
平消防組副頭

迷井隆平太
大橋秀九

廣田徳一
老松徳一

藤田 善吉
平青年團長

志保久一郎
佐藤芳松

平南町 小杉商店
比佐定彦

平二 北海屋商店 電八六九番
山崎定彦

平消防組副頭
石坂隆吉

柏原真吾
遠藤林松

吉春隆吉

青春海軍
阿部信六

平町新田町 仲家
鈴木志雄

平町二丁目 高瀬活版所 畫家
高瀬隆吉

御芽出度、家庭 圓満

松枝 茂

妊娠 夫自身は生理あるなど云つて居る間に... 御芽出度、家庭 圓満

分婉

分婉 關於直接に起る...

家庭

家庭 圓満の爲に、子...

お正月と胃の腑

お正月と胃の腑 胃の腑曰く私にも...

中西林藏

中西林藏 御正月をさして下さい...

信仰の人々へ

迷 信 (其六) 片岡鎌三郎

迷 信 願望なる傳説に對して宗教者不知に邪教と知り、人...

謹賀新年

- 平藝妓屋組合 平町料理屋組合 石城郡銀行組合 大谷時計病院 大一新屋商店 御料理越乃家 御料理玉よし 萬洗張小松崎本店 平運送株式會社 百澤商店

中野勇雄

- 平町三丁目(電三五九) 本丸ほん 賀澤忠治 磐城共濟病院 賀澤忠治 賀澤忠治 賀澤忠治

高級活動會

- 平館松岡卯次郎 一二葉印刷所 藥種小野富治商店 鈴木辰三郎 平町會議員一同 石川友次郎 高玉德彌 乾書店 三井自動車部 加納五郎 和久井屋漆器店 宗像國治商店 佐藤材木店 野崎自動車商會 平魚市場

産兒制限一考察

大に生み大に働き 國威の發揚に努むべし

長崎醫學博士 淺田 一

大に生み大に働き 國威の發揚に努むべし

近頃産兒制限の聲が漸く大に...

海邊の巖

海邊の巖 佐々木あきら

海邊の巖 ありがたみ

海邊の巖 金華山

海邊の巖 松ヶ枝に抱かれ海邊の巖

海邊の巖 巖たち

海邊の巖 巖の注連に初日のひかり

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

海邊の巖 波頭

の結婚です、未だに若水に生をよる...

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

大に働き國威の發揚に努むべし

謹賀新年

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

石城郡津波村大字市菅

赤津人方車立場

佐野屋旅館

西村屋藥舖

三井商店

百子屋

草野染工場

田中宣治

木村病院

片倉製絲會社

諸橋敬一郎

只野忠彦

岡田政市

渡邊富義

大和田與平

桐原英純

渡邊内科醫院

荒川水車精米所

高濱兼義

白井一郎

住吉屋本店

ライ卜寫眞館

高久病院

一商店

松乃壽

田邊商店

花園

山本忠藏

才地小路

大和家

松本樓

敬生一

鷹崎正見

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

信守

謹賀新年

諸橋久太郎

六平健造

如木孝山

高野貞治

石川忠一

江口忠一

大勝貞治

石川忠一

石川忠一

新田目春松

伊藤淺之助

比佐昌平

若松修一

大和園豐喜

草野順平

佐藤岩次郎

植田水力電気株式會社社長

坂本豊太郎

山崎

高橋直一

鈴木義芳

鈴木

鈴木

鈴木

鈴木

鈴木

鈴木

古川傳一

藤田淺之助

鈴木海

安島重三郎

山下嘉一郎

中村立躬

鈴木榮

佐々木善作

右色彌

遠藤俊一郎

吉田正雄

縣會議員「飯野村」

小野晋平

鈴木康平

此

鈴木

新

小田吉治

木村清治

渡

榮

杉山今朝吉

小田炭礦所長「好間村」

萩原申八

菅野飯場

佐藤三平

杉山今朝吉

五十嵐炭礦

不動澤礦業所

柏屋吳服店

門馬倉次郎

小野晋平

駒木根忠三

關西旅行記 (八) 西山孝賴

廿一、中央本線... 列車は名古屋を發して千種小島が二三羽をとんで...

液體空氣會社製 (酸素含有量百分中) 吸入用酸素吸入器 正確寒暖計 開内藥局